



GJ-FH56 シリーズ 2ケーブル ドームカメラ

インストレーションガイド

UD.6L0201D2105A02

私たちの製品を購入していただきありがとうございます。ご質問やご要望がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

このマニュアルに技術的に不正確な点や印刷上の問題がある場合があります。内容は通知なしに変更される可能性があります。更新はこのマニュアルの改版時に追加されます。弊社では、マニュアルに記載された製品や手順は迅速に改善、更新していきます。

プライバシーポリシー

本製品を使用する前に、本製品を監視目的で使用する前に、管轄区域内の関連する法律をすべて確認してください。

カメラのパラメータと機能については、製品仕様を参照してください。

規制情報

FCC 情報

FCC 準拠:この装置はテスト済みであり、FCC ルール パート 15 に規定され、クラス A デジタルデバイスの制限に準拠していることが判明しました。これらの制限は、商業環境で装置を運用する際に、有害な干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されています。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書に従って設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。住宅地域でこの装置を運用する場合、有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合はユーザ側の負担で干渉に対処する必要があります。

FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール パート 15 に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件に従うものとします。

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。
2. このデバイスは、望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。

EU 適合宣言



本製品および -該当する場合- 付属品は、“CE” のマークが付いており、EMC 指令 2014/30/EU、LVD 指令 2014/35 / EU、RoHS 指令 2011/65/EU の下に記載されている該当欧州統一規格に準拠しています。



2012/19/EU(WEEE 指令):この記号が付いている製品は、欧州連合(EU)の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定さ

れた収集場所で処分してください。詳細については次の URL を参照してください。

www.recyclethis.info



2006/66/EC (バッテリー指令): 本製品には、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。詳細については次の URL を参照してください。 www.recyclethis.info

カナダ産業省 ICES-003 準拠

本デバイスは CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A) の規格要件を満たしています。

内容

第 1 章 はじめに	5
1.1 製品の機能	5
1.2 概要	6
1.2.1 タイプ 1 ドームカメラの概要	6
1.2.2 タイプ 2 ドームカメラの概要	6
第 2 章 インストール	7
2.1 天井取り付け	7
2.2 インシーリング取り付け	10
2.3 ギャングボックス付きインシーリング取り付け	11
第 3 章 メニュー操作	12
3.1 フォーマット	12
3.2 セットアップ	13
3.2.1 AE	13
3.2.2 WB	13
3.2.3 デイ&ナイト	14
3.2.4 ビデオの設定	14
3.2.5 リセット	15
3.2.6 終了	15
3.2.7 保存/終了	15

第 1 章 はじめに

1.1 製品の機能

このカメラは、高感度、高度な回路基板設計技術を備えた新世代のセンサーを採用しています。高解像度、低歪み、低ノイズなどの特徴を備えています。監視システムや画像処理システムに非常に適しています。

主な機能は次のとおりです。

- 高性能 CMOS センサーと高解像度の明るい高品質画像。
- 低照度。
- オートスイッチ付き IR カットフィルタをサポートします。
- OSD メニュー、パラメータは設定可能です。
- オートホワイトバランス、オートゲインコントロール、電子シャッターコントロール、内部同期をサポートします。
- スマート IR モード。
- ユニット送信コントロール。
- 先進的な 3 軸設計は、異なる設置要件に対応します。

1.2 概要

1.2.1 タイプ1ドームカメラの概要

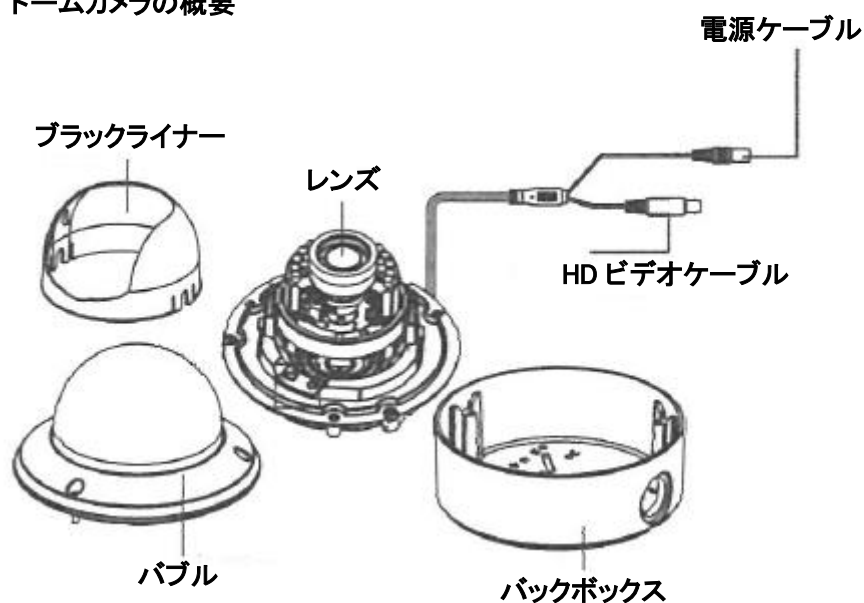


図 1-1 タイプ1ドームカメラの概要

1.2.2 タイプ2ドームカメラの概要

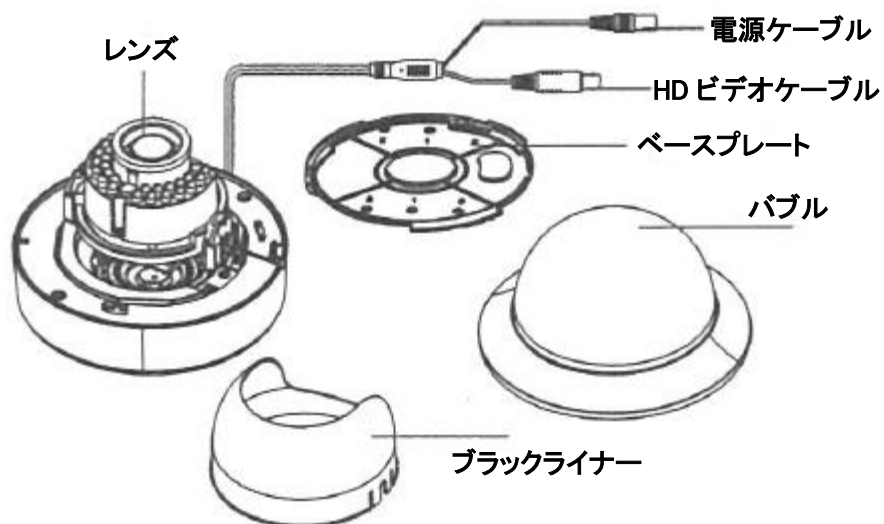


図 1-2 タイプ2ドームカメラの概要

第2章 インストール

始める前に:

- パッケージ内のデバイスが良好な状態で、すべての妥当な部品が含まれていることを確認してください。
- インストール中にすべての関連機器の電源が切れていることを確認してください。
- インストール環境については、製品の仕様を確認してください。
- 損傷を避けるために電源装置が電源出力と適合しているかどうかを確認してください。
- 壁の強度がカメラの重さの3倍とマウントの妨げにならないようにしてください
- 壁がセメント壁の場合は、カメラを取り付ける前に拡張ネジを挿入する必要があります。壁が木製の壁の場合は、セルフタッピングネジを使用してカメラを固定できます。
- 製品が正常に機能しない場合は、販売店または最寄りのサービスセンターに連絡してください。修理やメンテナンスのためにカメラを分解しないでください。

2.1 天井取り付け

手順:

1. 付属のドリルテンプレートに従って、ネジ穴とケーブル穴を天井にドリルします。

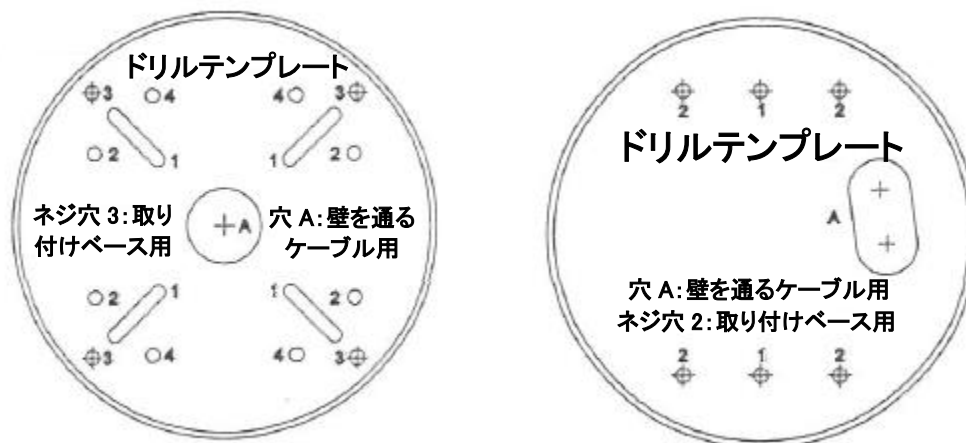


図 2-1 ドリルテンプレート

2. タイプ 1 カメラのバブルのねじを緩め、タイプ 2 カメラのバブルを回転させて、バブルとブラックライナーを取り除きます。

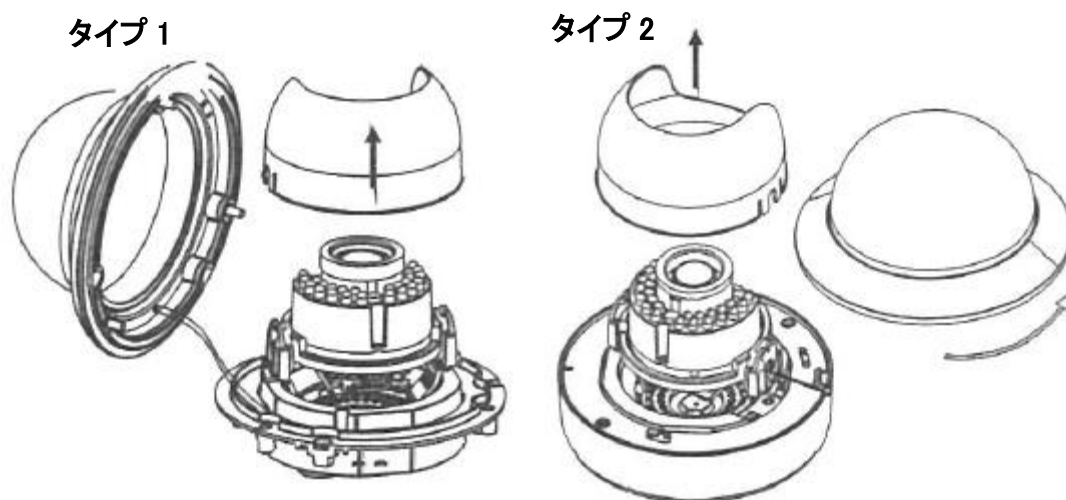


図 2-2 バブルを取り除く

3. タイプ 1 カメラのバックボックス/タイプ 2 カメラのベースプレート天井に取り付け、付属のタッピングネジで固定します。
4. ケーブルをケーブル穴に通します。
5. カメラをバックボックス/ベースプレートに合わせ、セットネジを締めてカメラをバックボックス/ベースプレートに固定します。

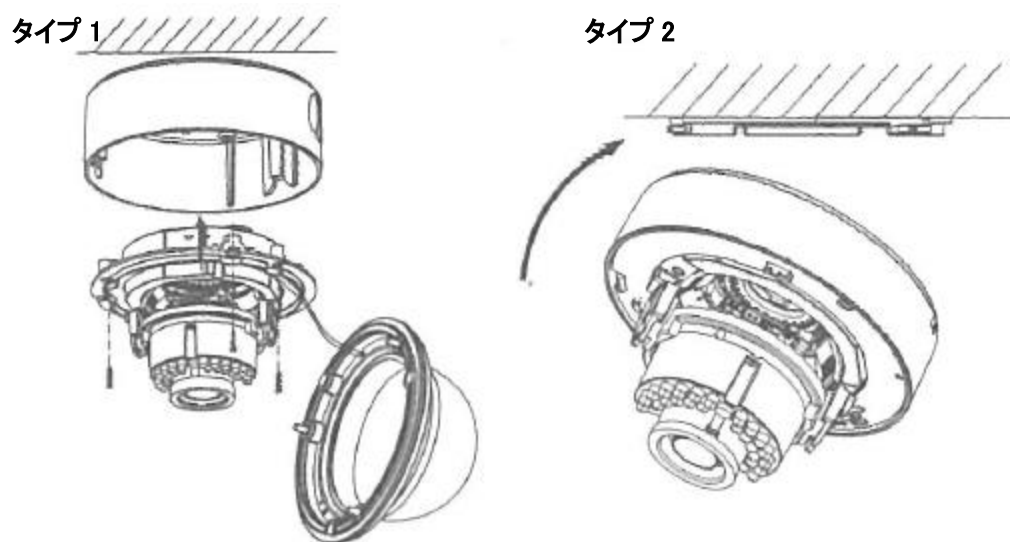


図 2-2 カメラを天井に固定する

6. 対応するケーブルを接続します。
7. 以下の図に従ってカメラを調整し、最適な角度を取ります。
8. カメラに黒いライナーを取り付け、タイプ 1 のカメラのバブルにネジを締めるか、タイプ 2 のカメラのバブルを回転して完了します。

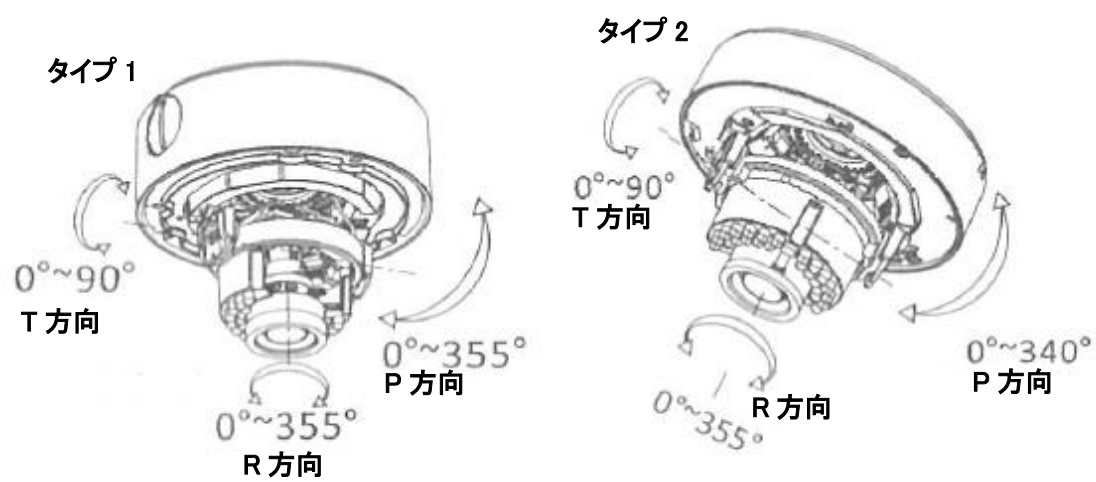


図 2-4 ズームとフォーカス調整

2.2 インシーリング取り付け



インシーリングに取り付ける場合は、インシーリングマウントを別途購入する必要があります。

手順:

1. 付属のドリルテンプレートに従って、ネジ穴とケーブル穴を天井にドリルします。
2. 2本のボルト穴に合わせてボルトをマウントに通します。トグルをボルトに合わせます。
3. 2つのトグルボルトを天井の2つのねじ穴に押し込みます。トグルが天井をしっかりと保持するまで、ボルトを回します。

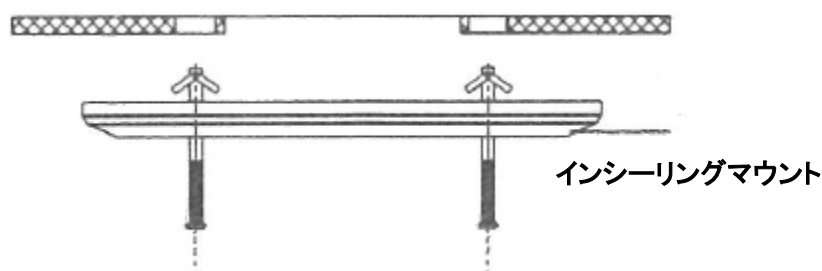


図 2-5 マウントをインストールする

4. 対応するケーブルを配線して接続します。
5. 付属のネジでカメラをインシーリングに固定します。

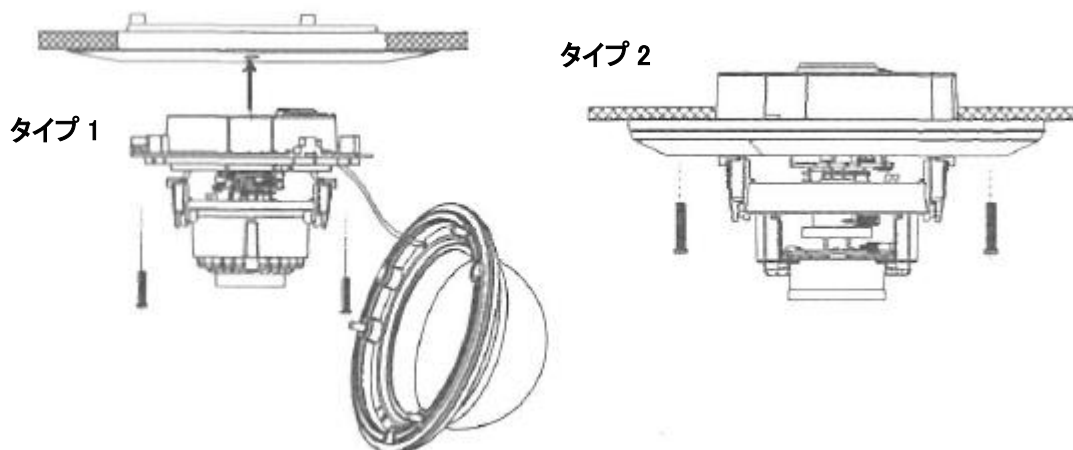


図 2-6 カメラをマウントに固定する

6. 天井取り付けセクションの手順 6～8 を繰り返して、取り付けを完了します。

2.3 ギャングボックス付きインシーリング取り付け



タイプ 1 のカメラのみがギャングボックス付きインシーリング取り付けをサポートしています。

手順:

1. インシーリング取り付けセクションのステップ 2～3 を繰り返して、ギャングボックスへのインシーリングマウントを固定します。

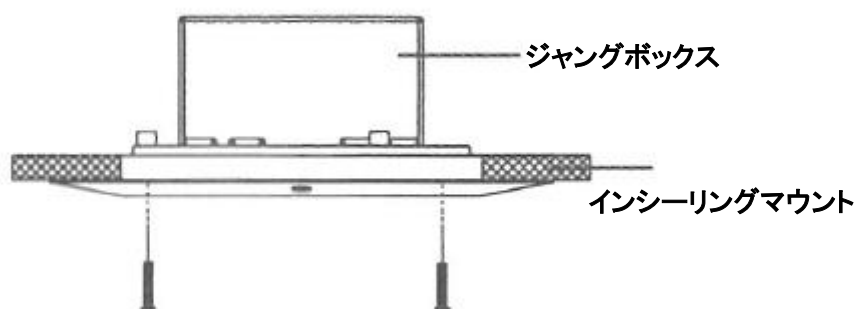


図 2-7 マウントをインストールする

2. 対応するケーブルを配線して接続します。
3. カメラをギャングボックスに合わせ、ネジを締めてギャングボックスにカメラを固定します。

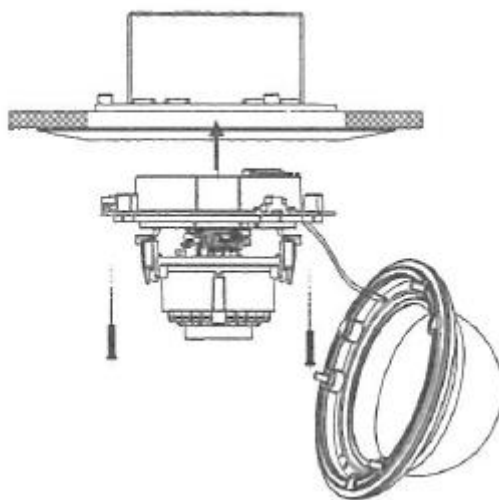


図 2-8 カメラをギャングボックスに固定する

4. 天井取り付けセクションの手順 6～8 を繰り返して、取り付けを完了します。

第 3 章 メニュー操作

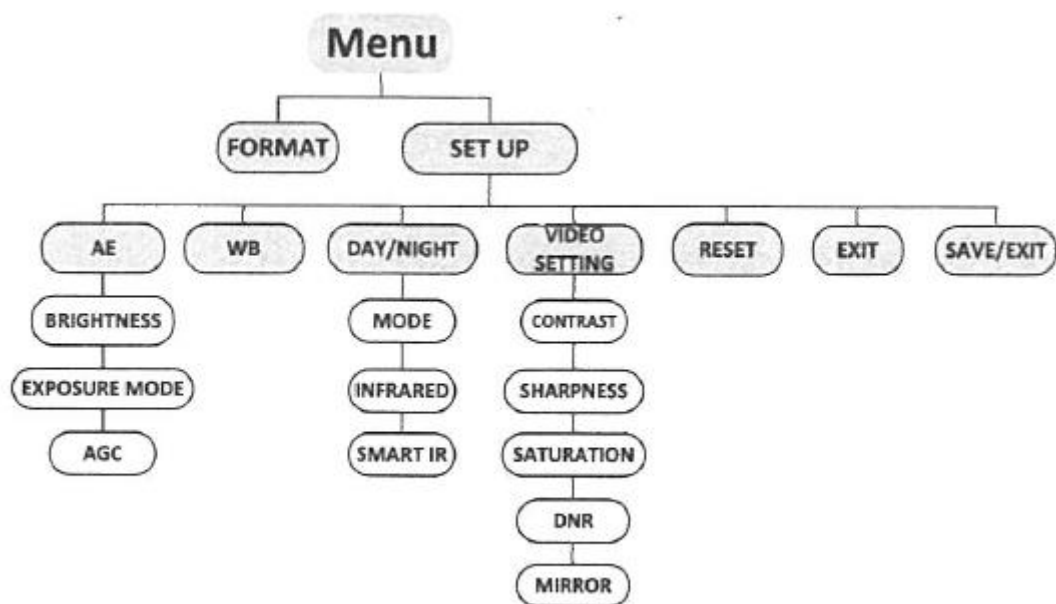


図 3-1 メインメニュー



同軸カメラコントローラー（別売）またはプリセット No.95 を呼び出すと、メニューを選択してカメラのパラメータを調整できます。

3.1 フォーマット

PAL または NTSC を選択できます。

3.2 セットアップ

カーソルを SET UP に移動し、メニューボタンを押して SET UP サブメニューに入ります。

3.2.1 AE

カーソルを AE に合わせると、明るさ、露出モード、および AGC で画像の明るさを調整できます。

明るさ:

明るさとは、画像の明るさを指します。

露出モード:

露出モードにカーソルを移動すると、グローブと BLC の間で露出モードを選択できます。露出モードとして BLC を選択すると、図 3-2 に示すように、BLC モードのレベルを調整することができます。

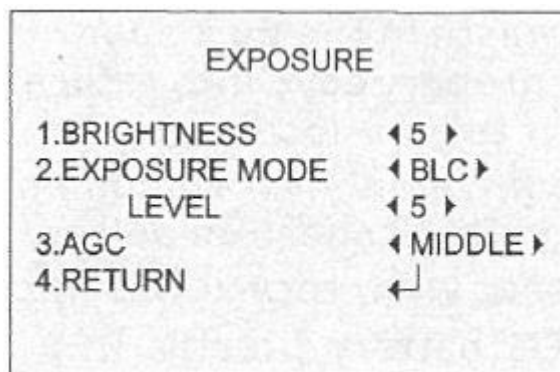


図 3-2 露出

AGC:

AGC は、貧弱な光景での画像の明瞭さを最適化します。AGC レベルは OFF、LOW、MIDDLE、HIGH に設定できます。

3.2.2 WB

カーソルを WB に移動すると、このメニューで AWB と MWB としてホワイトバランスモードを設定できます。

AWB: ホワイトバランスが自動的に調整されます。

MWB: R GAIN / B GAIN の値を 1 から 10 に設定します。図 3-3 に示すように。

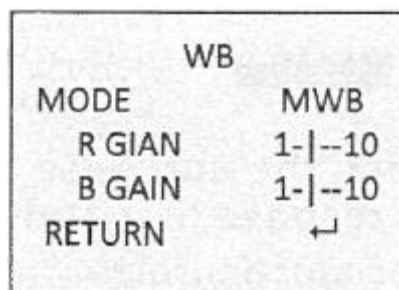


図 3-3 WB

3.2.3 デイ&ナイト

昼と夜にカーソルを移動し、昼と夜のモードとしてカラー、B / W、またはスマートを選択します。

カラー: 画像は常に昼間モードで色付けされています。

B / W: 画像は常に黒で表示され、暗い場所では赤外線 LED が点灯します。

スマート: INFRARED_LAMP をオン/オフし、スマート IR レベルを 1 から 16 に設定する場合に選択します。

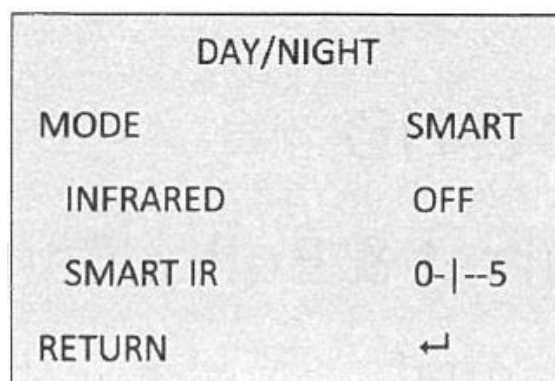


図 3-4 デイ/ナイト

3.2.4 ビデオの設定

コントラスト:

コントラストは、画像の各部分間の色と光の違いを改善しました。

1 から 10 までの値を設定できます。

シャープネス:

シャープネスは、イメージングシステムが生成できるディテールの量を決定します。

1 から 10 までの値を設定できます。

彩度:

画像の彩度レベルを設定できます。値は 0～10 です。

DNR:

DNR はノイズの影響を軽減し、特に暗い場所ではより正確で鮮明な画質を提供します。値は 0 から 7 まで設定できます。

ミラー:

ミラーステータスを H、V、HV、または OFF に設定できます。

3.2.5 リセット

すべての設定をデフォルトにリセットします。

3.2.6 終了

終了と保存 & 終了は選択可能です。

3.2.7 保存/終了

カーソルを保存 & 終了に移動し、OK を押して設定を保存し、メニューを終了します。